

一般社団法人 生活クラブ福祉事業基金 <特別枠> 第1回「つながりづくり助成」実施要項

2023年10月24日
一般社団法人生活クラブ福祉事業基金 理事会

1. 趣旨

生活クラブ福祉事業基金は「生活クラブ運動グループ」の福祉事業の推進を連合する力で支援することを目的として、2017年12月に発足し、2018年度に第1回助成を開始しました。そして組合員にも徐々に浸透し、寄付金については6ヶタ注文での寄付を開始した2021年度、2022年度と年間で1,000万円を超える寄付が集まるようになってきました。

今回、地域とのつながりや支え合いをつくるために一般社団法人生活クラブ福祉事業基金<特別枠>「つながりづくり助成」を新設します。地域社会への貢献や福祉の日常化*を目指し、生活クラブ福祉事業基金が組合員にとって必要で身近になることを目的に、事務手続きなどを簡素化するとともに、チャレンジ性を重視した新たな取り組みを支援します。少人数の組合員が身近な地域で居場所づくりなどの活動を始めてみようと思えるような参加型福祉の実践を応援します。

コロナ禍で活動が難しくなったこともあり、生活クラブ福祉事業基金口座残高は現在約4,000万円となっています。生活クラブ福祉事業基金を今後ひろげていくためにも、多くの助成実績をつくり、共感を得た組合員より寄付を募り、WEBやチラシなどの広報で組合員への認知度を高め、好循環を目指します。そのために2年間限定で合計2,000万円を予算化します。

※福祉の日常化・・・誰にでも起こりうる困りごと、そして支援を日常的な営みに埋め込むことで、する側・される側含めて特別なものにしてしまわない共生型社会の構築を行うこと。それは「支える側」を支えなおし、「支えられる側」の参加機会を拡大する双方向的な取り組みであり、日常の中に支えあう関係をつくりだすこと、誰もが担い手となる在りようをめざすことです。

2. 助成対象団体

- ① 生活クラブ会員単協と日常的に交流のある団体。
- ② 会員単協と連携して新規で立ち上げる活動または事業を行なう団体。

※ 必要とする団体・個人との対応は単協が窓口としてすすめます。

3. 助成対象となる活動または事業と助成金額

●助成対象活動または事業：地域とのつながりや支え合いをつくるのが地域社会への貢献、福祉の日常化につながるという視点を持つ活動または事業。

- ①新規で立ち上げる活動または事業が助成対象です。

※既存団体でも新規で対象の活動または事業を立ち上げる場合は助成対象となります。

- ②組合員3人以上が関わり、定期的(月1回以上の開所や活動)な計画をもつことを原則とします。

・1年間で1回を助成の上限とします。

・1単協で1年間2団体までの申請とします。

(東京単協・神奈川単協は、ブロック単協4・地域生協5それぞれで2団体ずつ募集可能です)

・当該単協理事会の推薦書が必要です。

●予算総額：2,000万円（特別枠予算）

※コロナ禍で積み上がった寄付金を2年間の期限限定で助成するため＜特別枠＞と表現します。
2年間の助成金総額を1,800万円、伴走支援金100万円、広報費100万円を内訳とします。

項目	つながりづくり 助成費	広報費	伴走支援費	予算合計
予算	1,800万円	100万円	100万円	2,000万円

○助成金額:1件につき20万円(総額1,800万円)

以下の新規事業に支援します。

1) みんなの食堂・子ども食堂

- ・事業を立ち上げるみんなの食堂・子ども食堂を応援します。
- ・定期的（月1回以上）な開所や活動計画を持つ活動または事業が対象です。

2) フードバンク事業

- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭に対し支援活動を行う予定、フードバンク拠点の開設を計画している団体のフードバンク活動または事業を応援します。
- ・定期的（月1回以上）な活動計画を持つ活動または事業が対象です。

3) 多様な居場所・学び支援事業

- ・多様な居場所づくりや学び支援活動・事業を立ち上げる計画がある団体を応援します。
- ・定期的（月1日以上）に開所または実施計画がある団体を対象とします。

○経費:200万円

1) 伴走支援(100万円)

- ・これから立ち上げようとしている団体に対して、講師や学習会への参加など、伴走支援へのための費用とします。当該単協と連携する伴走支援とします。
- ・現状の単協間の支援機能の実態が大きく異なりますので、すでに機能を持つ首都圏単協は単協内での対応を基本とします。

2) 広報(100万円)

- ・一般社団法人生活クラブ福祉事業基金理事会にてチラシフライヤーを作成し、実施要項と併せて単協で案内やはたらきかけをできるように準備します。また、連合会WEBサイトで広報を行います。

4. 助成対象となる活動または事業の活動期間

- ①2024年4月1日～2025年3月31日
- ②2025年4月1日～2026年3月31日

5. 助成申し込み締め切り

- ①2024年6月20日(木)
- ②2024年12月19日(木)

6. 対象となる経費

- ・物品購入費、消耗品費、交通費（ガソリン代含む）、運搬費、会場費、食材費、広報費、講師謝金、ボランティア活動費、保険料（ボランティア保険）など。
- ・団体の運営にかかる費用は対象外（会議費・家賃・食事代・光熱費など）

7. 選考の方法と評価視点

1) 選考方法

- ・生活クラブ福祉事業基金理事会が設置する審査会にて選考します。
- ・書面による選考とします。
- ・単協推薦を考慮する審査とします。審査は、要項に沿っての応募となっているかを中心に実施します。

8. 申請期間・選考及び助成時期

第1回

2024年4月1日～2025年3月31日(助成対象となる活動または事業の活動期間)

説明会:2024年1月19日(金)

募集開始:2024年2月13日(火)

相談会:①2024年2月21日(水) ②2024年4月10日(水)

募集締め切り:2024年6月20日(木)

審査会:2024年7月22日～26日の週

助成金支払い:2024年9月2日(月)以降

第2回

2025年4月1日～2026年3月31日(助成対象となる活動または事業の活動期間)

募集開始:2024年9月10日(火)

相談会(仮):2024年9月30日～10月4日の週

募集締め切り:2024年12月19日(木)

審査会:2025年3月7日(金)

助成金支払い:2025年4月1日(火)以降

9. 応募方法、助成の決定等

① 応募申請書の提出先

申請書（別紙）をメールまたは郵送で下記に提出ください。

- 1) 生活クラブ会員単協と交流のある各都道府県の生活クラブ生協本部となります。
- 2) 単協は生活クラブ共済連へ応募申請書を提出してください。

② 申請書の流れと助成

- 1) いただいた申請書は各地域の生活クラブ生協理事会の推薦に基づき、一般社団法人生活クラブ福祉事業基金（以下、一社福祉基金）の審査会で審査し、結果を審査会終了後1週間以内に生活クラブ会員単協を通してお知らせいたします。
- 2) 審査は書類選考です。さらに詳しい書類や聞き取りをする場合があります。

10. その他

- ・他の行政や民間助成等の助成を受けている活動または事業の場合は申請書に明記ください。
- ・活動終了後に報告書の提出をお願いいたします。
 - 1) 報告書については推薦を行った生活クラブ会員単協が確認し、生活クラブ会員単協から報告書提出をして下さい。【提出締め切り：2025年4月25日（金）まで】
 - 2) 報告書には1年間の決算報告を明記して下さい。
 - 3) 領収書やレシートの提出は不要です。
- ・活動または事業の実態が確認できなかった場合、趣旨と異なる使途が判明した場合は、助成金の返還を求める場合があります。
- ・生活クラブからの活動または事業の取材等にご協力ください。

11. 本事業の問合せ先

生活クラブ共済連気付 一社福祉基金 担当 早川 渉

Email wataru.hayakawa@s-club.coop

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20 KDX新宿六丁目ビル地下1階

Tel 03-4360-3659 Fax 03-5285-1864

第1回「つながりづくり助成」申請書

* 推薦を受けるため生活クラブ〇〇(担当〇〇)へ提出してください。

提出日 年 月 日

※組合員3人以上が関わり、定期的(月1回以上の開所や活動)な計画をもつことを原則とします。

【申請団体概要】

団体名	フリガナ		
住所	〒		
代表者名	氏名	役職名	
担当者	氏名	役職名	
	email		
	電話番号/携帯電話		
設立年月日		活動地域	
主体となる人数	人 (うち組合員 人)		
団体の目的			
活動または事業の概要			
年間収支計画 ※資料を添付下さい。			
* 主要な事項を簡潔に記載のうえ、直近の総会議案書や資料を添付ください。			
今回応募する活動または事業の他の助成状況 *他の助成を受けていても申請は可能です。			
連携している団体			

【申請する事業・活動の内容】

申請金額	円
対象となる事業 *該当する項目 すべてに☑をし て下さい。	<input type="checkbox"/> みんなの食堂 子ども食堂。 <input type="checkbox"/> フードバンク 関連活動または事業 <input type="checkbox"/> 多様な居場所・学び支援活動または事業 <input type="checkbox"/> その他、今回の趣旨に沿った活動または事業 具体的に（ ）
対象となる 活動または事業 の目標・計画・ 具体的な内容、 スケジュール *開始年月 *活動頻度	
助成金の使途 (項目ごとに金 額などの明細を 記載)	
生活クラブと団 体とどのように 連携するか	
想定支援対象者 人数・無償ボラ ンティア、協力 者、目標人数	
活動状況の団体 独自の広報・報 告方法 (予定)	

推薦書

応募団体名		
推薦者（単協 または団体 名）		
担当者	氏名	部署・役職名
	Tel	
	email	
応募団体との連携 <u>*具体的にお書きください。</u>		
推薦理由		

以上のとおり、理事会にて検討し推薦を決定しましたので、この推薦書を提出します。

____年 月 日

代表者氏名 _____ 法人印 _____

一社福祉基金事務局記入欄: 受付 _____ / No _____

